

2017年（平成29年）8月17日

加盟団体代表者 各位

公益財団法人全日本ボウリング協会
競技委員長 不破 伸二
(公 印 省 略)

J B C主催大会における 競技フロアへのボールの持込み4個制限について

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の諸事業に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度の当協会主催大会では、監督会議資料に下記の一文を掲載し、競技フロアへのボールの持込みについて監督・選手皆様へお願いをしてまいりました。観客のスペースや選手動線の確保は競技運営上喫緊の課題であり、それら確保を目的に、指導事項として監督・選手の皆様にごお願いをしてきましたが、この内容が指導事項であるために、従っていただける選手がいる反面、従っていただけない選手もまだ数多く存在するのが現状です。

そこで、当協会主催大会においては、競技フロアへのボールの持込みを4個以内とするよう、その制限を平成30年度より完全実施することといたしました。

つきましては、今年度はその移行期間として、来年度よりスムーズに完全実施することができるよう、大会参加の監督・選手皆様へその旨ご伝達くださいますようお願い申し上げます。

ご不明な点などあれば、J B C事務局（担当：鈴木）までご連絡ください。

末筆になりますが、貴連盟益々のご発展を祈念申し上げます。

敬具

記

■平成28年度J B C主催大会の監督会議資料記載内容

「競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とするようご協力ください。ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにしてください。」

■平成30年度からの対応例

- ・ボール置場出入り口への主管役員の配置
- ・5個以上のボールを運搬している選手にボールをボール置場まで戻させるなどの対応を検討中です。

■その他注意事項

- ・このボールの持込み制限は、あくまでボール置場から競技フロアへのボールの移動・運搬に際し適用されるものです。そのため、従来通りボール登録を行っていただければ、5個以上のボールを大会で使用することは可能です。
- ・練習投球中のボールの入れ替えは可能ですが、それに伴う練習投球時間の延長は認めません。
- ・競技中のボールの入れ替えは競技が遅滞しない範囲で認めます。スローボウリングにご注意ください。

以上